

## 50年継続会員表彰

日本薄片研磨片技術研究会は、長きにわたる会への貢献を称え感謝の意を表すことを意図とし、50年継続会員表彰賞および60年継続会員表彰賞を設けております。今年の総会では、50年にわたり会に貢献した大山会員が表彰されました。大山会員は、2006年－2007年には会長として会に尽力しており、今回、新たに設けられた研究会理事にも就任されました。

## 受賞者コメント

東北大学 理学研究科 大山次男

第61回大会(産総研)では、50年継続会員として表彰をしていただき心から感謝いたします。昨年度になりますが、日本薄片研磨片技術研究会は創立60周年を迎えました。昭和33年(1958年)当時の地質調査所(溝の口)で第1回の研究会が開催されて以来60年、今日まで継続されている事は歴代の会長、役員、会員の皆様、そして御協力をいただきました研究者の皆様方の賜物と思っております。当時、私は21才で入会し、第15回大会(東大工学部)に初めて参加しました。当日の夜に地震にあった事を今でも覚えております。当時の製作法は主として接着剤にレーキサイトセメントを使用しており、二次切断機は無く、通常の切断機を二次切断機として応用しておりました。又、当時の会員の皆様は、良いとか悪いとかではなく、職人氣質といいますか、自分の作製方法にとってもこだわる方が多かったような気がします。

現在は接着剤、製作機器、また研磨材等についても進歩しており、昔に比べ、通常の試料製作は容易になっています。その一方で、自分の事ではございますが、この業界に入り50数年、どうしても完成に至っていない試料もいくつかあります。出来るように努力したかと思うと自信がないのですが。

この問題を解決してくれたのが、6年前に会長に就任し、現在の会長でもあります大和田朗殿です。年のはなれた友人でもありますが、努力家で、どのような試料にも真剣に取り組み、その結果、すでに皆様方ご存知だと思いますが、乾式法をつくりだしました。この作製方法により全国にいる薄片技術関係の皆様方への恩恵を数多くあたえてくれました。歴代の会長にかわり、大和田殿に心から御礼を申し上げます。

これからも大和田会長を中心に役員の皆様、会員の皆様も体に気をつけて技術会のため、自分のために頑張ってくださいたいと心から願っております。最後になりますが、この度、当会の理事を拝命いたしました。微力ではありますが研究会の発展に力を尽くしてまいりたいと思います。



50年継続会員表彰で笑顔を見せる大和田会長(写真右)と受賞者の大山会員(写真左)



受賞した大山会員のスピーチ